

スマート農業技術をもっと身近に

：低コスト簡便スモール・スマート農業技術を知る

第2弾 中小規模農家でもできる水田農業のスマート化

セミナー開催の狙い

現在、ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用した「スマート農業」による日本農業のイノベーションを目指して全国各地でスマート農業加速化実証プロジェクト（農林水産省事業）が実施されています。この事業は、さまざまなスマート農業技術を実際に生産現場に導入し、2年間にわたって技術実証を行い、その経営効果を評価するという意欲的なものです。令和元年度から事業が開始され、現在、全国179地区において実証が行われ、さまざまな効果や課題が確認されています。

しかしながら、スマート農業技術の多くは、その導入に多額の費用がかかり、個々の農家レベルでの導入における経済的なハードルが高いことが指摘できます。また、その効果についても、果たして導入費用を上回る経済的な効果を確認できるか不確定である点です。

そのため、多くの農家から安価で利用が簡単で確実な効果が得られるスマート農業技術の開発を期待する声が多く寄せられています。そうした農家の声に応えることを目指して、セミナー「～スマート農業技術をもっと身近に：低コスト簡便スモール・スマート農業技術を知る 第2弾 中小規模農家でもできる水田農業のスマート化」を企画しました。

本セミナーでは、水田作における低コストで簡便なスモール・スマート農業技術について紹介します。このセミナーで紹介するのは、ほんの一部の技術であり、まだまだ多くの技術が開発されていると思われるので、今後も開発状況を把握して紹介していきたいと思えます。

今回のセミナーは、新型コロナウイルスの収束が見えない中での開催となりますが、より多くの方々に取り組みを紹介することを目指してOnlineで実施することとしました。

皆様の積極的なご参加をお待ちしております。



スマート農業技術と自然農法の融合を目指して（アグリーンハート佐藤氏提供）

播種直後

生育後



ドローンによる直播直後と生育後の水田（石川県農林総合研究センター提供）



図1 ドローンによる追払いの効果（左：ウミネコ、右：スズメ）

注）ウミネコの場合は、長さ30cm程度のプラスチックチェーンを装備する。



図2 ウミネコによる欠株被害の防止効果（左：ドローン無（2018）、右：ドローン有（2020））

令和2年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書より

開催日等

日 時：令和3年10月25日（月） 13：30～15：30

開催場所：オンライン開催（Zoom(ウエビナー)によるライブ配信）

参加費：無料

主催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会

協力：「東北農業のイノベーション技術創造」研究開発プラットフォーム

<セミナープログラム>

主催者挨拶（セミナーのねらい）

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 門間 敏幸 （13:30～13:35）

第1報告 低コスト×スマート農業×有機農業で地域をデザインする

（株）アグリーンハート 代表取締役 佐藤 拓郎 氏 （13:35～14:05）

第2報告 ドローンを活用した水稻直播栽培

石川県農林総合研究センター 専門研究員 宇野 史生 氏 （14:10～14:40）

第3報告 ドローンを使って水田の害鳥を楽に追い払おう

岩手県農業研究センター 上席専門研究員 山口 貴之 氏 （14:45～15:15）

質疑討論

司会：東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 門間 敏幸 （15:15～15:30）

申込方法等

- ・10月21日（木）までに、下記の申込フォーム（URL）からお申し込みください。

URL：https://zoom.us/webinar/register/WN_hzmW1Rs5QH-7YN2ao8hfXw

- ※ お申し込みの方への登録完了メールは、申込フォームにご記入の「名」宛てで返信されます。
これは、Zoom ウェビナーの設定上のことですのでご了解願います。

問い合わせ先

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 事務局（藤井）

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4 東北農業研究センター内

TEL：080-2806-9926

E-mail：tohoku-hightech@@kej.biglobe.ne.jp（ご使用時は、@を1ヶ削除願います。）

- ・本セミナーは、農林水産省が実施する「知」の集積による産学連携支援事業により行われるものです。